

# マクノリアの木 No.011

向井小から人権の花

中日新聞

2024年2月14日

## 人権の花大きく育て

尾鷲 児童が福祉施設に贈る



施設にプランターを届けた児童ら＝尾鷲市向井で

尾鷲市向井小学校の児童が7日、昨秋から育ててきた花のプランター28鉢を、学校周辺の社会福祉施設など4カ所に贈った。同校は、花の栽培を通じて人権意識を育む「人権の花運動」（熊野人権啓発活動地域ネットワーク協議会主催）の2023年度指定校。ピオラやキンギョソウ

などを植えたプランターには、「やさしい心」「花をだいじに」など子どもたち手作りのポップを添えた。7日には、児童を代表して5、6年生5人が、尾鷲地区の人権擁護委員らと施設を訪問。同市向井の障害者グループホーム和家では理事長の伊藤久子さん（50）が「利用者はみんな花が大好き」と笑顔で鉢を受け取った。

（安田理恵）

## 育てた花をプレゼント

向井小 人権の花運動 校区内施設や団体に



自分たちで育てた花を寄贈する向井小学校の児童会役員（尾鷲市向井の障害者グループホーム和家で）

尾鷲市向井小学校（森井啓校長、21人）の5・6年生5人は7日、熊野人権啓発活動地域ネットワーク協議会の「人権の花運動」で育てた花を校区内の福祉施設や協力団体などに回して小中学校1校

尾鷲市向井小学校（森井啓校長、21人）の5・6年生5人は7日、熊野人権啓発活動地域ネットワーク協議会の「人権の花運動」で育てた花を校区内の福祉施設や協力団体などに回して小中学校1校



南海日日

2024年2月10日

6年の中村奏太児童会長（12）は「大きくなってほしいと願いながら世話をした。元気に育ってほしい」と笑

を指定し、花を育てる優しさや思いやりの心を育む目的で人権の花運動を実施している。花はキンギョソウ、ピオラ、ナデシコなど5種類約100株。児童たちは11月中旬にプランターに3株ずつ植え替え、玄関前に置いて児童会が水やりして育てた。

## 「人権の花」で思うこと

2017年の12月頃。グループホーム建設のための造成工事を前にして、向井地区で説明会を開いたときに、参加者の方から、「孫が向井小に通っているが、グループホームができれば、是非、学校との交流を考えてほしい」という発言がありました。そのときは、地域の理解と協力をお願いすることで、精一杯で、このような話になるとは思ってもいませんでした。

そして、今日まで、地域や学校から沢山の協力をいただきました。子どもたちは先生とどんな話をしながら、花を育ててきたのだろうか？「和家」の話などもしたのだろうか？ また、私たちとして、地域や学校にどのような協力ができるのだろうか？ いろいろと考えることの多かった「人権の花」でした。向井小の皆さん、ありがとう。

顔を見せ、伊藤理事長が好きな利用者が多いは「向井小からは何度のもすてきな花をもらっなので大切に育てたい」と感謝した。